

小学校 低 学年<1・2—(2)>

学 年	1年 2年	時 間	学級活動(帰りの会等の短学活で) 「救急クイズ!こんな時どうする?」	時 期	適時	時 数	10分~15分 (問題数や学年で異なる)
目 標	応急手当の正しい方法が分かり、災害時等いざというときに役立てることができる。						
資料・準備	ワークシート(消防庁「チャレンジ!防災48」)						

展開

	学習活動と内容	主な発問・指示(◇)	指導上の留意点	支援(○)	評価(☆)
導 入	1	自分が家族や大人の人と一緒にいないときにけがをしたときに、正しい応急手当を行う重要性を知る。 ◇けがや病気になった時すぐに家族や大人に知らせますが、もし外でけがをした時、自分で間違っ た手当をすると、よけい具合(症状)がひどくなる ことがあります。今から救急クイズをしながら、 こんな時どうしたらいいのか考えてみましょう。	○ワークシートについて 時間や児童の発達段階を考慮して、一回に1 問~5問を実施する。 (例) 1年→ 一回に1問ずつ、次回には、前 時の復習をしてから次の1問を。 2年→ 一回に1問ずつ、または2問ず つ。次回には、前時の復習をして から行う。		
展 開	2	クイズ問題に挑戦する。	○(各)問題を教師が読み上げながら、ワークシー トの該当箇所に丸(○)を付けるよう指示する。  ○グループになって、相談しながら解答を考 えてもよい。  ○一回に2問以上を行う場合は、記憶が新しい うちに正解が聞けるように、1問ずつ答え合 わせを行う。  ○問題の解説は、指導者用の解説を児童に分 かりやすく読み上げる。		
ま と め	3	本時のまとめをする。	○再度、応急手当の重要性について説明し、 <b>実 際</b> に自分がけがをした場合や、けがや病気の 人を発見した場合には、家族や近くの大人 に知らせることが大事であることを説明す る。  ○帰ったら家の人にも教えてあげるよう約 束する。		

関連する 教科・領域等	
協力団体	